

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-159949

(P2016-159949A)

(43) 公開日 平成28年9月5日(2016.9.5)

(51) Int.Cl.  
B65D 25/20 (2006.01)

F 1  
B 6 5 D 25/20

テーマコード (参考)  
3 E 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2015-39864 (P2015-39864)  
(22) 出願日 平成27年3月2日 (2015.3.2)

(71) 出願人 592077811  
株式会社ダイキ  
大阪府八尾市竹濑西4丁目17番3号  
(74) 代理人 110001232  
特許業務法人 宮▲崎▼・目次特許事務所  
(72) 発明者 廣瀬 新治  
東京都三鷹市上連雀1-16-20 株式会社ダイキ内  
Fターム(参考) 3E062 AA04 AA09 AC02 AC03 BB06  
BB10 DA01 DA02 JA03 JA04  
JA08 JB03 JB04 JB08 JB11

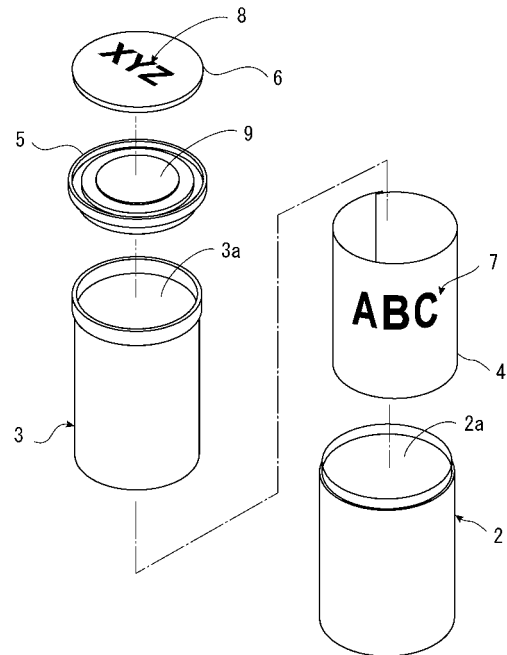
(54) 【発明の名称】 容器

(57) 【要約】

【課題】表示や意匠の変更が容易であり、多様な表示や装飾効果を発現させ得る容器を提供する。

【解決手段】第1の筒状体2に第2の筒状体3が内装されており、第1の筒状体2と第2の筒状体3との間に、模様7が表示された模様シート4が挿入されており、第2の筒状体3の開口3aに蓋体5が貼り付けられており、蓋体5の表面に、上面に模様8が付与された装飾部材6が接合部材9を介して取り付けられている、容器1。

【選択図】 図2



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

上端に開口を有する有底の第 1 の筒状体と、  
 前記第 1 の筒状体内に内折されており、上端に開口を有する有底の第 2 の筒状体と、  
 前記第 1 の筒状体と前記第 2 の筒状体との間に挿入されており、前記第 2 の筒状体の外周側面の少なくとも一部に設けられており、外表面に模様が付与された模様シートと、  
 前記第 2 の筒状体の上端の開口に挿入された蓋体と、  
 前記蓋体の表面に配置されており、かつ上面に模様が施された装飾部材と、  
 前記装飾部材を前記蓋体の表面に着脱自在に結合している接合部材とを備える、容器。

## 【請求項 2】

前記蓋体が、前記第 2 の筒状体の前記開口に圧入される環状突出部を有する、請求項 1 に記載の容器。

## 【請求項 3】

前記装飾部材が、円板状の第 1 の部材と、  
 前記第 1 の部材と対向するように、かつ前記第 1 の部材の外周縁を巻き込むように第 1 の部材に固定されている、円板状の第 1 の部材と、  
 前記第 2 の部材の表面に積層されており、周縁部が前記第 1 の部材の外周縁と前記第 2 の部材の外周縁との間に挟持されるようにして、前記第 1 及び第 2 の部材に取り付けられている模様台紙とを備える、請求項 1 または 2 に記載の容器。

## 【請求項 4】

前記第 1 及び第 2 の部材が金属板の加工品からなる、請求項 3 に記載の容器。

## 【請求項 5】

前記第 1 の筒状体が透明である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、筒状の容器に関し、特に、側面及び上面に模様を付与し得る容器に関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来、小物等を収納するのに、様々な容器が用いられている。例えば下記の特許文献 1 には、円筒状の容器の一例が開示されている。特許文献 1 に記載の容器では、上端に開口を有する円筒状の筒状体に、該開口を閉成する蓋材が取り付けられている。

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0003】

【特許文献 1】特開 2004 - 244077 号公報

## 【発明の概要】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0004】

特許文献 1 に記載のような従来 of 容器では、筒状本体の外周面に、装飾効果を発揮する模様が印刷されたり、あるいは内容物を示す情報が印刷されたりしている。また、印刷に替えて、模様や情報が表示された粘着シールや粘着シートを筒状本体の外周側面に貼り付けることもあった。従って、容器により表示される模様が固定されており、かつ表示の多様化も困難であった。

## 【0005】

本発明の目的は、様々な模様を表示でき、かつ表示内容を容易に変更することができる容器を提供することにある。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0006】

本発明によれば、上端に開口を有する有底の第 1 の筒状体と、前記第 1 の筒状体内に内

10

20

30

40

50

折されており、上端に開口を有する有底の第 2 の筒状体と、前記第 1 の筒状体と前記第 2 の筒状体との間に挿入されており、前記第 2 の筒状体の外周側面の少なくとも一部に設けられており、外表面に模様が付与された模様シートと、前記第 2 の筒状体の上端の開口に挿入された蓋体と、前記蓋体の表面に配置されており、かつ上面に模様が施された装飾部材と、前記装飾部材を前記蓋体の表面に着脱自在に結合している接合部材とを備える容器が提供される。

【0007】

本発明に係る容器のある特定の局面では、前記蓋体が、前記第 2 の筒状体の前記開口に圧入される環状突出部を有する。

【0008】

本発明に係る容器の他の特定の局面では、前記装飾部材が、円板状の第 1 の部材と、前記第 1 の部材と対向するように、かつ前記第 1 の部材の外周縁を巻き込むように第 1 の部材に固定されている、円板状の第 1 の部材と、前記第 2 の部材の表面に積層されており、周縁部が前記第 1 の部材の外周縁と前記第 2 の部材の外周縁との間に挟持されるようにして、前記第 1 及び第 2 の部材に取り付けられている模様台紙とが備えられている。

【0009】

本発明に係る容器の別の特定の局面では、前記第 1 及び第 2 の部材が金属板の加工品からなる。

【0010】

本発明に係る容器の他の特定の局面では、前記第 1 の筒状体が透明である。この場合には、第 1 の筒状体を通して、第 1 の筒状体の内側の模様シートの表面に付与された模様や情報を容易に外部から観察することができる。

【発明の効果】

【0011】

本発明に係る容器によれば、第 1 の筒状体と第 2 の筒状体との間に挿入された模様シートと、蓋体の表面に配置された装飾部材とにより、より多くの模様を表すことができる。また、上記模様シートや装飾部材を容易に変更可能であるため、模様の変更にも容易に対応することができる。よって、使用者が独自の模様を表すことも容易となる。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図 1】図 1 は、本発明の第 1 の実施形態に係る容器の斜視図である。

【図 2】図 2 は、本発明の第 2 の実施形態に係る容器の分解斜視図である。

【図 3】図 3 は、本発明の第 1 の実施形態の容器で用いられている装飾部材の正面断面図である。

【図 4】図 4 は、本発明の第 1 の実施形態で用いられている蓋体を示す正面断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

以下、図面を参照しつつ、本発明の具体的な実施形態を説明することにより、本発明を明らかにする。

【0014】

図 1 は、本発明の第 1 の実施形態に係る容器の斜視図であり、図 2 はその分解斜視図である。

【0015】

図 1 及び図 2 に示すように、容器 1 は円筒状の第 1 の筒状体 2 と、円筒状の第 2 の筒状体 3 とを有する。第 1 及び第 2 の筒状体 2, 3 は、上端に開口 2 a, 3 a を有する有底の筒状体である。

【0016】

第 2 の筒状体 3 は、第 1 の筒状体 2 に内挿されている。従って、第 1 の筒状体 2 の内径に比べて、第 2 の筒状体 3 の外径が小さくされている。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 1 7 】

上記第1の筒状体2は、合成樹脂からなる。もっとも、合成樹脂以外の材料を用いてもよい。第1の筒状体2は、本実施形態では透明である。もっとも、透明ではなく半透明であってもよい。

## 【 0 0 1 8 】

第2の筒状体3は、合成樹脂からなる。もっとも、金属やガラスにより形成されていてもよい。第2の筒状体3は、透明であってもよく、非透明であってもよい。

## 【 0 0 1 9 】

第1の筒状体2と、第2の筒状体3との間に、模様シート4が挿入されている。模様シート4は、外表面に「ABC」で示されている模様7を有する。この模様7は、装飾効果を発揮する模様であってもよく、あるいは内容物を示す情報等であってもよい。従って模様7は、「ABC」で示すような文字に限らず、写真等であってもよい。

10

## 【 0 0 2 0 】

上記模様7は、模様シート4の外表面に印刷されていてもよく、あるいは外表面に粘着シールを貼り付けることにより形成してもよい。すなわち、模様シート4の外表面に模様7が付与される限り、この模様7の付与方法は特に限定されない。

## 【 0 0 2 1 】

上記模様シート4は、紙からなる。もっとも、紙以外の材料、例えば合成樹脂フィルムや金属箔を用いてもよい。

## 【 0 0 2 2 】

上記模様シート4は、本実施形態では、図2に示すように筒状の形状である。もっとも、模様シート4は、第2の筒状体3の外周面の周方向全長に渡って設けられる必要は必ずしもない。すなわち、第2の筒状体3の外周面の一部領域と、第1の筒状体2との間に、模様シート4が設けられていてもよい。

20

## 【 0 0 2 3 】

蓋体5は、円板状の形状を有する。図4に示すように、蓋体5は、円板状の蓋体本体5aを有する。蓋体本体5a上に、接合部材9が固定されている。接合部材9は本実施形態では、磁石からなる。

## 【 0 0 2 4 】

蓋体本体5aの外周縁から下方に伸びるように、環状突出部5bが設けられている。環状突出部5bは、図2に示した第2の筒状体3の開口3aに圧入されるように設けられている。従って、図2に示すように、模様シート4を第1の筒状体2と第2の筒状体3との間に挿入するようにして、第2の筒状体3を第1の筒状体2内に挿入する。しかる後、上記蓋体5の環状突出部5bを第2の筒状体3の開口3aに圧入することにより、容器1内を封止することができる。

30

## 【 0 0 2 5 】

なお、蓋体5の環状突出部5bの一部を切り欠いた突出部を設けてもよい。また、複数の突出部を設け、第2の筒状容器3の開口3aに圧入し得るように構成してもよい。

## 【 0 0 2 6 】

上記蓋体5は、合成樹脂からなる。もっとも、蓋体5は金属等の他の保形性材料により構成されてもよい。蓋体5の蓋体本体5aの上面に装飾部材6が着脱自在に固定されている。

40

## 【 0 0 2 7 】

装飾部材6の上面には「XYZ」で示す模様8が表示されている。従って、前述した模様7と模様8との双方により、内容物の情報を表示したり、装飾効果を発現させたりすることができる。

## 【 0 0 2 8 】

この模様8は、「XYZ」のような文字に限らず、模様7と同様に、絵柄や写真等により構成されてもよい。

## 【 0 0 2 9 】

50

上記装飾部材 6 は、本実施形態では、図 3 に示すように、第 1 の部材 6 a と、第 2 の部材 6 b と、模様台紙 6 c とを有する。第 1 の部材 6 a 及び第 2 の部材 6 b は、いずれも、金属板からなり、円板状の形状を有する。もっとも、第 1 の部材 6 a と第 2 の部材 6 b とは、模様台紙 6 c の外周縁を抱き込むようにして、一体化されている。このような構造は、いわゆる紙巻バッジと称されている周知のバッジと同様の構造である。

【 0 0 3 0 】

上記模様台紙 6 c は、図 1 及び図 2 に示した模様 8 を表示し得る適宜の材料からなる。このような材料としては、紙、合成樹脂シート、布等を挙げることが出来る。

【 0 0 3 1 】

なお、本実施形態では、上記装飾部材 6 は、いわゆる紙巻バッジと同様の構造を有しており、第 1 の部材 6 a は金属板からなる。他方、上記接合部材 9 が磁石からなるため、装飾部材 6 は容易に着脱し得る。よって模様 8 を変更したい場合には、他の模様が表示された装飾部材 6 を蓋体 5 上に固定すればよい。

10

【 0 0 3 2 】

また、前述した模様シート 4 についても、第 2 の筒状体 3 と第 1 の筒状体 2 との間から取り外し、模様シート 4 を容易に変更することができる。

【 0 0 3 3 】

よって、本実施形態の容器 1 では、模様 7 , 8 の双方により様々な情報を表示させたり、多様な装飾効果を発現させることができる。加えて、模様 7 及び 8 を容易に変更することができる。よって、容器 1 の使用者は、模様 7 及び模様 8 としてオリジナルな絵柄や情報等を用いることができる。従って、量産品では得られない、独自の表示や意匠効果を発現させることができる。

20

【 0 0 3 4 】

なお、上記接合部材 9 として磁石を用いたが、磁石に替えて、再剥離性粘着剤を用いてもよい。その場合においても、装飾部材 6 を剥離し、再度貼付することができる。従って、上記実施形態と同様に、装飾部材 6 を容易に変更することができる。

【 符号の説明 】

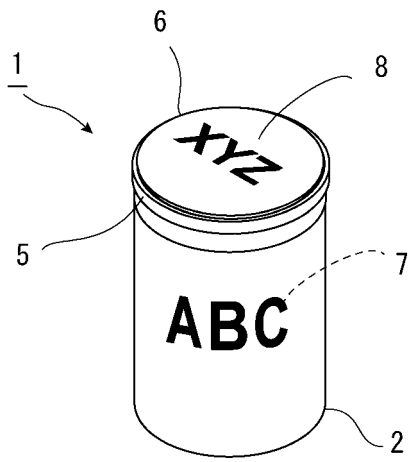
【 0 0 3 5 】

- 1 ... 容器
- 2 ... 第 1 の筒状体
- 3 ... 第 2 の筒状体
- 2 a , 3 a ... 開口
- 4 ... 模様シート
- 5 ... 蓋体
- 5 a ... 蓋体本体
- 5 b ... 環状突出部
- 6 ... 装飾部材
- 6 a ... 第 1 の部材
- 6 b ... 第 2 の部材
- 6 c ... 模様台紙
- 7 , 8 ... 模様
- 9 ... 接合部材

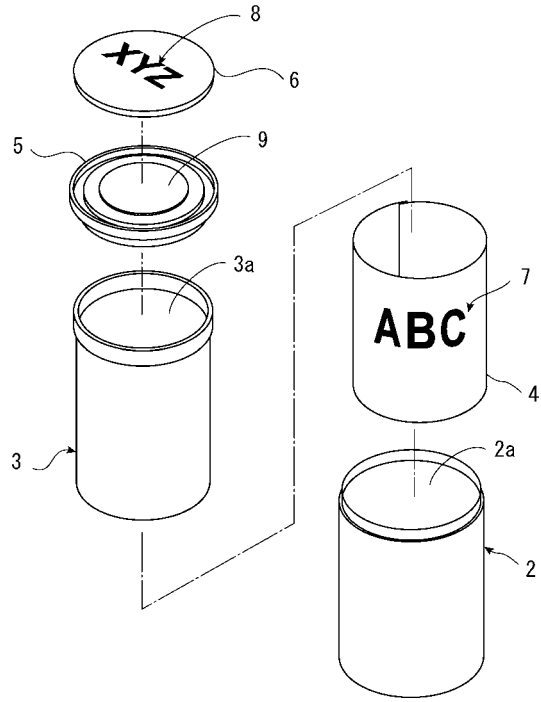
30

40

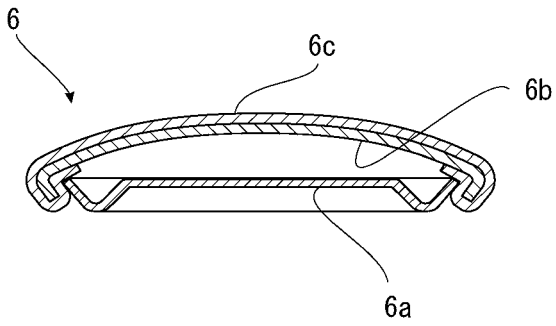
【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】

